学校番号	２０６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体性をもって作品制作（課題）に臨む。表現の多様性を認識し、互いを認めあう。自身の常識を超える表現を試み、常に新しい作品（課題）にチャレンジする。

・周囲と自分の関わりや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

(1) 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
(2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
(3) 主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて主題に沿った表現が行えているか、また、材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	シルクスクリーンによる表現	【絵画・彫刻】【鑑賞】 1．主題の設定 ・モチーフとなるにぼしを観察し、作りたい形と作品の主題を考える 2．構想を練る ・アイデアスケッチをもとに完成イメージを広げ、材料をどのように削りだすかの構想を練る 3．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく 3．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく	a:(知識・技能) モチーフとなるにぼしの形や色彩、材料の木材などの性質やそれらの造形的な造形的特徴を捉えたり、全体の作品のイメージをとらえることができているか 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫できているか。 b:（発想や構想） 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 c:（主体的に学習に取り組む態度） モチーフを見つめてアイデアスケッチや下描きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。	アイデアスケッチ アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート キャプション	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート キャプション	アイデアスケッチ 振り返りシート キャプション

2学期	工芸・木象嵌アート	【デザイン】【鑑賞】 1．主題の設定 ・象嵌アーの中の寄木細工による表現技法を活用して、イメージを広げ、メッセージボードをつくり作品の主題をより深める。 ・世界各地の象嵌アートの歴史や制作方法をそれぞれが調査し、プレゼンテーション大会の中で発表し、互いに評価しあうことで、総合的な力や技術を構築する。 2．構想を練る ・アイデアスケッチをもとに完成イメージを広げそれぞれの材料をどのように工夫して政策していくかの構想を練る。 3．制作 ・発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく	a:（知識・技能） 象嵌アートについての知識を深めることができたか。また、鑑賞者にわかりやすく説明することができたか。 形や色彩、材料などの性質やそれらの造形的特徴を捉えたり、全体の作品のイメージをとらえることができているか 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫できているか。 b:（発想や構想） 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:（主体的に学習に取り組む態度） モチーフを見つめてアイデアスケッチや下描きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	プレゼンテーションの仕方 アイデアスケッチ 乾燥 アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 キャプション 振り返りシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 キャプション 提出作品 相互評価シート	アイデアスケッチ キャプション 振り返りシート

3学期	デザイン・メッセージボード	【デザイン】【鑑賞】 1．主題の設定 ・自分自身の新しい未来へのスタートをテーマに、イメージを広げ、点描でメッセージボードをつくり、作品集を制作し、高校生活３年間の集大成の思いを深める。 2．構想を練る ・アイデアスケッチをもとに完成イメージを広げそれぞれの材料をどのように工夫して制作していくかの構想を練る。 3．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 制作途中に相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にしてゆく	a:（知識・技能） 形や色彩、材料などの性質やそれらの造形的特徴を捉えたり、全体の作品のイメージをとらえることができているか 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫できているか。 b:（発想や構想） 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:（主体的に学習に取り組む態度） モチーフを見つめてアイデアスケッチや下描きを何度も行い、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	アイデアスケッチ アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 相互評価シート	アイデアスケッチ 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度